

妖怪 台湾



華麗なる魑魅魍魎

ちみ もうりよう

夏の風物詩といえば、身の毛もよだつ怪談話。泣く子を呑み殺す「虎姑婆（フウグウポー）」に、山に入った人を迷わせる「魔神仔（モシナ）」、女子を強引に娶る蛇の化身「蛇郎君（シエランジュン）」など、灼熱の太陽が照りつける台湾でも、束の間の涼を求めて、地域に伝わる妖怪談が人々の関心を集めています。民主化運動や台湾アイデンティティの躍動とともに、いままで忌避されてきた台湾の妖怪たちは民間伝承の場を離れて、小説、映画、ゲームといったさまざまなコンテンツで跋扈し、今や大衆文化の一部となっています。今回の特集では、台湾の文青（文芸青年）の間でとりわけ人気の高い怪談創作を紹介し、台湾発の妖怪の魅力を探ります。



台湾の妖怪伝道師

今シーズンの注目作家

何敬堯(ホー・ジンヤオ)



1985年生まれ。台湾大学文学部外国語文学科卒。清華大学台湾文学所博士課程満期退学。ファンタジー要素を融合させたミステリー創作に長け、怪談ミステリー『幻の港』で小説家デビュー。その後、台湾の民間に伝わる奇譚を体系的にまとめた『妖怪台湾』を刊行し、人気を博す。その他の作品に、『怪物たちの迷宮』、『妖怪台湾地図』などがある。

角斯(チャオス・ツォン)



台北人。世新大学映画総合学科卒。グラフィックデザイナー、イラストレーター。自身で立ち上げたブランド「角斯角斯(チャオス・チャオス)」を運営する傍ら、2012年より、台湾各地に伝わる神話、妖怪伝承を題材に絵の創作を行っている。代表作に『台湾妖怪地誌』『宝島搜神』などがあり、2021年の春、初めての絵本作品『牟吉(モウジイ)』を上梓した。

瀟湘神(シャオ・シヤンシエン)



1982年生まれ。東呉大学中国文学学科卒。台湾大学哲学研究所修士課程修了。台北地方異聞工作室の共同創業者。長年にわたって、台湾における妖怪伝承に関する史料の収集と研究を行ない、大衆文化とされてきたフォークロアを現代的に書き替えるなど、民間信仰や怪異伝承を題材にした小説を創作している。主な著書に、『跋扈する台北城の妖魔』、『魔神仔(モシナ)』、『唯妖論』(共著)、『おはしさま』(共著)がある。

「妖怪文芸」シリーズ

台湾の妖怪に詳しくなれる中文書6選



『台湾妖怪研究室報告』 臺灣妖怪研究室報告

どこかで聞いた奇妙な伝説は、本当に単なる噂なのか？台湾で語り継がれる16種類もの妖怪を一度に網羅した、怪談ファン必携のバイブル。「妖怪図鑑」「記録ガイド」に、さまざまなジャンルの専門家8名による「妖怪見聞録」が加わった、愛蔵版3巻セット。

ISBN | 9789869214162
作者 | 妖怪研究室
出版社 | 行人文化實驗室
出版日 | 2015/10/30



『妖怪台湾』 妖怪臺灣

300年にわたる台湾妖怪史の完全ガイド。「妖鬼神遊巻」では229匹の怪力乱神を網羅し、「怪談奇夢巻」では129篇の怪談が収録されている。作者が長い歳月をかけて、台湾各地に伝わる怪異伝説を緻密に取材しまとめ上げた、最恐保存版。

ISBN | 9789570848533 | 9789570854404
作者 | 何敬堯
出版社 | 聯經
出版日 | 2017/01/05 | 2020/01/17



『幻の港』 幻之港

かつて存在した謎多き港にまつわる、5つの怪談エピソードから構成された奇譚集。道ゆく人たちを、底知れぬ憎悪や貪欲の世界へと導き寄せた物の怪たちは、どこへ消えたのか？台湾屈指の妖怪研究家である何敬堯が、歴史小説の旧套を脱して挑んだ、初の連作短編集。

ISBN | 97895744449736
作者 | 何敬堯
出版社 | 九歌
出版日 | 2014/12/01



『モシナ』 魔神仔

怪異の謎を解く本格ミステリ。とある失踪事件をきっかけに、台湾と沖縄両地で語り継がれる怪異伝承が、不意につながってしまう。島の先人たちが出会った黒い影は、単なる俗信ではなく、自己受容のメタファーでもあった。

ISBN | 9789570856859
作者 | 瀟湘神
出版社 | 聯經
出版日 | 2021/01/14



『モウジィ』 牟吉

太陽にまつわる伝説は、中国の夸父や后羿のほか、台湾にかほごうけいにおける原住(先住)民族の口承文芸でも散在する。ツォウ族とカナカナブ族に伝わる神話を織り交ぜた渾身作。太陽を追いかける冒険物語が絵本で蘇る。

ISBN | 9789865549435
作者 | 角斯
出版社 | 大塊文化
出版日 | 2021/01/30



『宝島搜神』 寶島搜神

夢に出る仙霊、靈験を現す12ヶ月の神々、爆弾を受け止めて人々を守った媽祖、神に化した宜蘭猫、金丹を用いて亀と虎を治療した保生大帝など、台湾の怪力乱神にまつわる108の物語が一冊に集結！

ISBN | 9789570854541
作者 | 角斯
出版社 | 聯經
出版日 | 2020/01/22

日本語で読める台湾のホラー作品・妖怪案内

バラエティ豊かなラインナップ!



『妖怪台湾地図』(仮) 妖怪臺灣地圖

原書房より刊行予定

妖怪とは風土の記憶であり、そこに住まう人々の精神史である。台湾各地に出向いて、作家自ら説話、俗信、歌謡、芸能、絵画など、多方面にわたって怪異伝承を蒐集し、考察を重ね、その輪郭を捉えた意欲作。

ISBN | 9789570853124

作者 | 何敬堯

出版社 | 聯經

出版日 | 2019/05/09



『ブラックノイズ』 荒間

8月に文藝春秋より刊行

心の隙や人の弱みにつけ込む“黒い声”。現世をさまよう日本統治時代の怨霊が、悪の囁きとなって人々の幻聴を引き起こし、死に追いやる――。歴史の実話と原住民の伝説が合わさった、台湾ホラー小説の最高傑作。

ISBN | 9789861795164

作者 | 張渝歌

出版社 | 大田

出版日 | 2018/02/12



『おはしさま』 篋

9月に光文社より刊行予定

日本・台湾・香港の人気作家5名による、リレーミステリ。「箸」をテーマに、3つの異なる怪異譚が数珠つなぎで紡がれていくも、後半へと進むにつれて一気に伏線回収され、最終話になだれ込む。各作家の個性がいかんなく発揮された競作でありながら、整合が取れた怪奇ミステリ短編集。

ISBN | 9789579447607

作者 | 三津田信三, 薛西斯,

夜透紫, 瀟湘神, 陳浩基

出版社 | 獨步文化

出版日 | 2020/02/06



『返校 影集小説』 返校 影集小説

7月にKADOKAWAより刊行

台湾発ホラーゲーム「返校」の実写ドラマのノベライズ本。戒厳令が敷かれた60年代、高校の教師と生徒も密告によって迫害されてしまう。30年の時を経て、とある女学生が禁じられた場所に足を踏み入れてしまったことで、おぞましい真相に近づいていく――。

ISBN | 9789865241544

作者 | 李則攸, 巫尚益

出版社 | 台灣角川

出版日 | 2020/12/25



『鬼地方』(仮) 鬼地方

邦訳刊行予定

物語の舞台は、著者の出身地である彰化県の田舎町。いまでは“忌み地”と化した集落は、もはやふる里と呼ぶにはほど遠い。ねじれた家族関係から、知られざる町の姿、恐怖の時代、無情な人の世までを、陳家それぞれの視点から浮き彫りにし、知られざる黒い秘密を暴いていく――。

ISBN | 9789869837330

作者 | 陳思宏

出版社 | 鏡文學

出版日 | 2019/12/05